

# 《各国報告》

タイ王国での活動報告

関口 輝比古

(公財) 国際労働財団

タイ事務所 所長

# SGRA in Thailand

JILAF-Thailand  
Teruhiko Sekiguchi

## SGRA事業の概要 What is SGRA ?



国際労使ネットワーク等を通じた組織化による草の根支援事業  
(Supporting Grass Roots Activities)

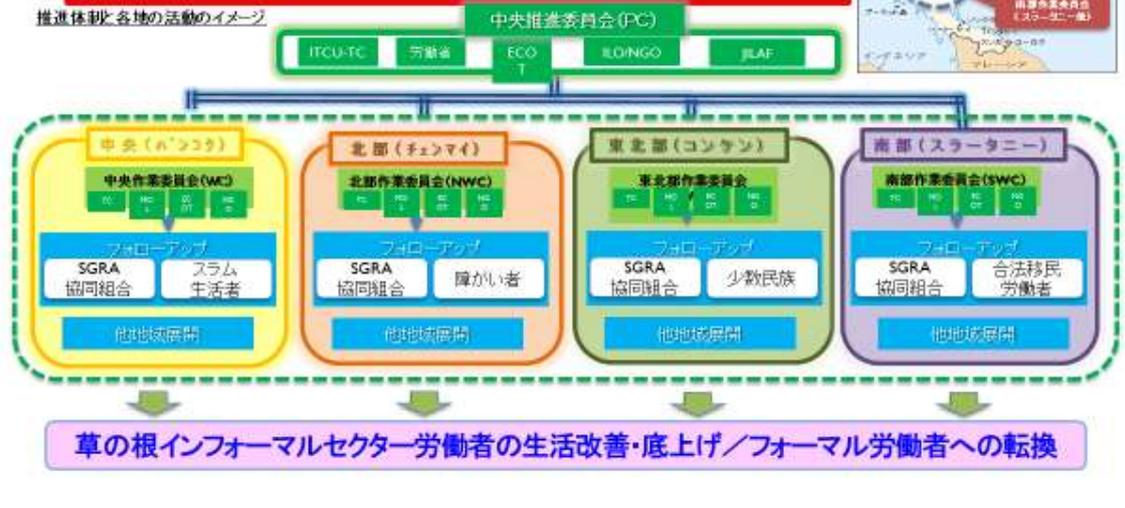
- ・インフォーマルセクター労働者の生活改善・底上げ / フォーマル労働者への転換  
Improvement and raise of living standards of informal-sector workers / Shift to formal sector
- ・社会的セーフティネットの構築  
Establishment of social safety net

現地の労働組合、使用者団体、政府、ILO等との協働による

Collaborating with local trade unions, employers' organizations, governments and ILO through;

- ①生活改善情報等のコミュニティへの普及のためのライフサポートセミナーの開催  
Organizing Life Support Seminar for providing useful information for network members
- ②ネットワークメンバーに対する各種職能開発訓練・識字訓練の実施  
Providing network members with vocational training and literacy education
- ③ネットワークメンバーが主たる加入者となった互助組織(協同組合)の設立・運営  
Establishment and management of mutual-aid organization (SGRA cooperatives) by network members

- <2019年度 特設的事業>
1. 「フェーズⅠ」の完結に伴う成果等をふまえた、「フェーズⅡ」の継続  
 具体的には、事業実施地域(バンコク、チェンマイ、コンケン、スラタニー)作業委員会およびJILAFは、「より困難な生活状況下におかれたインフォーマルセクター労働者(障がい者、少数民族、スラム生活者)を対象としたフォローアップの継続」  
 →ライフサポートセミナー(LSS)を通じた生活・収入改善情報の提供、職前研修(政府・使用者団体主体研修)へのネットワークメンバーの確保(「ブリッジング」)、SGRA協同組合(クレジットユニオン)への加入促進
  2. 事業実施地域作業委員会のワークキットを用いた自主・自律的展開等  
 ・各地域の作業委員会による面的展開、他県、他地域における活動(LSS、職業訓練、SGRA協同組合の設立)の展開、(20名×4地域)
  3. 「より困難な生活状況下におかれたインフォーマルセクター労働者」へのアプローチモデルの確立と協力組織の蓄積・整理
  4. タイの経験、ノウハウの他国への普及、展開



## タイでの活動実績 (2018年度)

2018年度タイSGRA事業 主な成果・実績等一覧

実施地域	バンコク周辺	チェンマイ	コンケン	スラタニー
新規ネットワークメンバー数・職種	20 スラム居住ポーターグループ	20 生活困難者	20 高層労働者	20 ムスリムグループ
2018年度ネットワークメンバー数			80	
ネットワークメンバー数(累計)			764	
既存職業訓練への派遣し数 (新規メンバー)	本業		有機農法(米)	有機農法(野菜)
	副業		20 有機農法(ハーブ)	
2018年度メンバー「ブリッジング」数			60	
既存メンバーフォローアップ	92 ① ① ITU-TC NCS e-リーダー 職業訓練 314 ② ② LSS コミュニティー US 810 ③ ③ LSS コミュニティー 職業訓練 210 ④ ④ LSS コミュニティー 職業訓練 1118 (生活マッチング(ホームワーカー) 社会福祉利権加入促進 協同組合強化(福利厚生基金設立)	69 ① ① 生活困難者グループ 211 324 ② ② 障がい者グループ フォローアップ 133 ③ ③ 障がい者グループ 2418-2402 107 ④ ④ 生活困難者グループ 240-2402 107	55 ① ① ライス・ポーターグループ 職業訓練 71 ② ② ライス・ポーターグループ 職業訓練 1107	106 ① ① 35歳未満グループ フォローアップ 41 ② ② コミュニティー US 524 ③ ③ 35歳未満グループ 職業訓練 1111
	フォローアップ数		322	
生活(収入)改善数 (新規メンバー+フォローアップ数)	112	69	75	126
2018年度委員会(取組) 数・委員			402	
新規協同組合メンバー数	20	20	50	30
協同組合メンバー数(累計)	216	100	160	170
特設すべき成果・課題等	① スラム内ポーターグループへのアプローチ ② SGRA協同組合内「福利厚生基金」を設置 ③ MAC後の福利給付調査	① 東方面自治体との連携による障がい者へのアプローチ ② 生活困難者へのアプローチ ③ 生活困難者基金の設置 ④ 有機ハーブの生産、販売拡大	① 生産域内における労働問題(プンプン/ラベリン)解決 ② 大気汚染拡大 ③ 地方自治体による支援、援助の拡大	① センパイ、セニパイ支援グループで取組に支援する(継続) ② 障がい者地域への展開 ③ 文化、教育、宗教、性別平等セクター

## 相互扶助システムの構築、強化

グループ名	設立年	メンバー	貯蓄基金の内容	その他の相互扶助制度	備考
ドメスティックワーカーグループ (中央部:バンコク)	2014年	70人	預金約60万B ・緊急時融資 ・慶弔共済	・法律扶助基金 ・医療費、葬儀費用 ・配当金	グループ全体600人 (タイ人400人、ミャンマー人200人)
有機米グループ (東北部:コンケン)	2017年	400人	預金約120万B ・緊急時融資 ・慶弔共済	・社会保険基金(メンバー205人、預金約21,000B) ・火災救援基金(メンバー192人、預金約38,000B)	
ゴム農家グループ (南部:スラータニー)	2016年	127人	預金約300万B ・緊急時融資 ・慶弔共済	副業基金 ・肥料生産グループ ・チリペースト生産グループ ・無農薬野菜栽培グループ	
ホームワーカーグループ (北部:チェンマイ)	2013年	45人	預金約10万B ・緊急時融資 ・慶弔共済		

### Approach to needy group より困難な生活をしている人達へのアプローチ



Examples of Self-advancing and autonomous Cases

自立化、自走化の事例 I



**Study tour for labour inspector (13-14, Dec, 2017) 29 inspectors**

**INFORMAL LABOUR FAIR 2019 (13, Feb, 2019) 391 Informal sector workers**



Examples of Now Self-reliance, Self-advancing Cases

自立化、自走化の事例 II



Strengthening the Core working committee toward Domestic Dissemination

核人材の強化から国内普及へ



Strengthening the Core working committee toward Oversea Dissemination

核人材の強化から海外普及へ



# Leave No One Behind